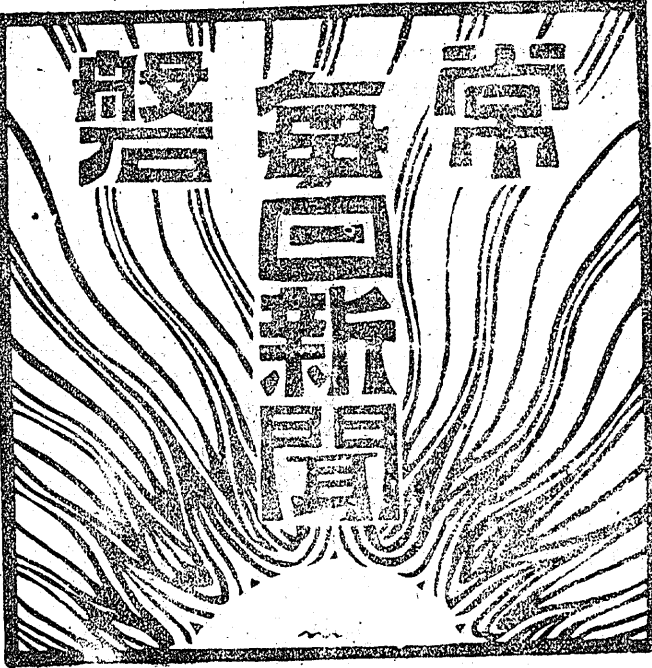


定部金貳錢 廣五號十三 刊休日曜大祭 福島縣石城郡平町長橋町三五
 價一月五十五錢 料告字詰一行 日刊日曜大祭 發行所 常磐毎日新聞社
 郵税五錢 料五十五錢 日刊日曜大祭 電話六三〇番



日刊 發行所 常磐毎日新聞社 印刷所 常磐毎日印刷所 川崎文治 本社内（電話六三〇番）

刊夕日四廿月七

寄書
相馬閥を作れ
相馬の古武士

此の秋に際して偉人二の宮尊徳翁を招聘して盛んに力を涵養し濟政の立直を損し終に今日の相馬の基礎を築き上げたのである。蓋し相馬の守護神として永久に崇拜措かざる二宮翁の遺徳や想ふべきである。然れども一方教育の方面に於ては何時頃出来たか不明なるも、育英館位のものであるに特別な教育方法を知らされて居ない二宮翁幼少の頃山に柴かりに行くにも本をさなかつた翁の逸事を相馬の民百姓には教へなかつ

た頃に思はるのである、要するに財政の復興にばかり重きを置いて人物養成に餘り重きを置かなかつた、二宮式施政方針も僅かに相馬に人なきの憾を抱かしむる原因ではあるまいか、古來相馬人は他國人を恐れる氣味はあつた。天明の饑饉以來民百姓の餓死する者多く終に人口の減少を來し勢、加賀、能登城中越後方面より盛りに移住民を募集し來り之れが補充をなしたことは凡ての方面に誠に當相馬地方の思想に一大セシメーションを與たものたらう。即ち彼等移住民は往民社交的にも其の他結婚問題に於ても随分期待せられたものである、然れども彼等移住民の努力辛棒は次第

に効を奏して生産能率にも富の程度に於ても優に土着民を凌駕するに至つた

常磐文藝
火蛾を詠す
渡邊何鳴

- ▽灯取盡酒盃に粉を降らしけり
- ▽打ちし蛾の翅音淋しき灯かな
- ▽夏虫の巻き落されし油煙かな
- ▽夏虫のうちし讀書の額かな
- ▽句座の人まばらに淋し灯取出
- ▽臨終の灯に飛べる白蛾かな
- ▽夏虫に更けし夜業の灯かな
- ▽夏虫のめぐるまゝ、灯を運びけり
- ▽夏虫の骸掃き寄せ寝たりけり
- ▽夏虫に推敲つきたす夜を徹す
- ▽灯蛾めぐる病床暗き灯かな
- ▽提灯にぶつかり落ちし青蛾かな
- ▽夏虫に法灯暗き寮舎かな
- ▽山莊の霧に吹かるゝ灯蛾かな
- ▽灯蟲とふまゝにかゝげし手燭かな
- ▽天井の影大なる灯蟲かな
- ▽灯蟲とぶ下に寝入りし裸かな
- ▽襲ひ來し灯蛾にゆるゝ夜霧かな

暑中御伺申上候

石城郡銀行組合

東部電力株式會社
平營業所

片倉磐城製糸株式會社

◇廿五日替り◇

帝キネ超特作 明石緑郎、千草香子主演
時代劇 日の出の巖 全

マキノ特作時代劇 日本で初めての慢劇
吞福大悲戦 全
中根龍太郎、マキノ登六、泉清子、大林梅子

マキノ特作 愛の三部作の中母性愛
現代劇 永遠の母 全
松浦築枝、木下シゲミ主演

マキノ提供 月形プロダクション作
時代劇 やくざ者 全
月形陽侯、天野及一主演

帝キネ
マキノ
有聲座 電四四六

本日より

柳川井 (御一人前 金四十錢)

柳川なべ (全 金卅五)

相始めました共に不相變御負の程願ひ上げます

出前迅速……△

牛鳥石川亭
御料理 電話四三番

農服

◇輕装上衣 黒セル4・20ヨリ カシミヤ 10・00ヨリ
◇白直衣 1・60ヨリ
◇白づぼん .60ヨリ

輕快で瀟洒な夏服の季節となりました。スマートな今年度の新製品が豊富に取揃ひました。

平二あかや洋服店 電203

高久病院

院長 醫學士 高久清忠
副院長 新潟醫學士 赤羽
藥局長 藥劑師 佐竹菊雄

内科 小兒科 外科 花柳病科 耳鼻咽喉科 レントゲン科

平町田町 電話五二三番

平町上水道の 壽命一週間

此の天候が續けば 止むなく断水する

けふ水道課員總出動

水不足を告げて居た平町の
上水道は愈よ此の天候が續
いて降雨がなければ一週間
後には断水の止むなきに陥
る恐れがあるので幾分でも
早天に耐へて餘力を伸ばさ
んと本日から水道課員を八

観客の脱帽起立裡に 映畫「君ケ代」を上映

平館と有聲座に 來月から實行せしむ計劃

荒井平警察署長は過般の署
長會議の協議に基き平町に
於ける活動常設館たる平館
及び有聲座に於て毎度映畫
上映前に當つて特に、映畫
「君ケ代」を上場せしむる事
になつた、右は観客に對し
國體觀念を深からしむると
共に思想善導の上からの試
みであつて多分來月上旬頃
から實行される筈であり近
く兩館主を招き是れが相談
を爲す筈であるが同映畫映
寫中は観客全部脱帽起立す
る事になる

強がり爺さん

石城
郡植田町大字本町菓子製造
業榮泉堂雇人佐藤八郎(大)

豊年疑なし

石城の稲田

石城郡地方に於ける稲田の
状況を聞くに小名濱、草野
夏井の如く田植時に於て例

年早魃に苦しめられて居た
土地も本年は其の難を免れ
郡内全般を通じて適度の温
度と湿度を保ち無事に田植
を終了した爲め此分下ゆけ
ば半年昨の十三萬石は優に
突破し得べく見られて居り
目下郡農會は自給肥料を獎

作れば作る程 損失を招ぐ農家

此の窮状を見るに忍びず 郡農會が対策協議

底知れぬ不況の結果最近農
業者の生活状態は全く行詰
り生産物は賣行不振で多く
の農産物も作れば作る程損
失を蒙ると云ふ有様石城郡
農會ではこの農村の窮状を
見るに忍びずとなし今般役
員會を開いて之が対策を講
ずる筈

不良な 飲食物取締

科料處分に 平警察署では傳染病流行期

に入つたので管内の飲食物
販賣業者に不良物を賣らぬ
様注意を與へて居るが營業
者は更に顧みずその筋の
眼をごまかしては果實等の
腐敗したものを堂々店頭
飾つて販賣して居るので同
署では断然處分する事とな
り先づお膝元の平町で此程
五丁目鈴木キツ外數名を検
査科料を言渡したが今後は
手をゆるめずとし、處分
する方針であると

自動車追突

自轉車粉砕

石城郡警備村大字上湯長谷
字上の台菓子御商野木昇(三
七)は廿一午後五時頃同村大
字下舟尾字宮下地内にて自
轉車に乗つて疾走中同郡湯
本町字三國自動車營業柳内
藤太郎方の運轉手が運轉し
來れる自動車に追突され投
げ出されて自轉車を破壊し
重傷を負へ入山病院にて加
療中

稻荷山トンネルに 婦人の轢死体轉る

亭主に隠し女が出来て 悲觀の揚句に自殺

今朝平町稻荷山トンネル内
に婦人の轢死體轉つて居た
のを工夫が發見平署員急行
検視の結果平町古鍛冶町煉
瓦職大道源三郎内縁の妻海
老原ツネ(大)と判明したが
同人は亭主が他に隠し女を
持つたのを悲觀し精神に異
状を呈し自殺を遂げたもの
であると

長橋衛生區長 平町

山田榮松氏と決定した

中村だより

▽原町はうどんそばのも
りかけ何れも八錢にした、
鹿島は五錢にした然るに中
村は物價騰貴の時代と同じ
く十錢とは如何なる理由か
▽夫れにまた中村町で理
髮料、洗滌料、電燈料、水
道料一文も値下なきは如何
水道料の高いのは料金を拂
はず一寸失敬する人がある
からかも知らんが御伺ひ申
上候

柔道二段の 齒科醫と判明

一錢客は

一錢銅貨一枚で大盃遊びを
した精神病者は石城郡小名
濱町齋科醫鈴木巖(三)と判
明したが同人は柔道二段の
猛者で暴れ廻る爲め自宅に
監置し治療中昨年九月頃か
ら幾分快方に向つたので外
出し初めた處又々此頃病勢

平町の 読書界を 覗く

雑誌は何が出る

何十版だの、何百版だの、
洛陽の紙價を高めたのと景
氣づくめの宣傳が全く看板
に偽りなしかと平町某書店
で聞けば決してそうでない

平町人事

▲死亡

△田町三(金成トキ(二))
△六人町一(鷺谷アサチ(三))

常磐片々

○ 天帝不況を憐んでか豊穰疑
ひなき天候を恵む

○ 稼げば稼ぐ程損する農家の
対策、協議だけに終るを惶
る

○ 水道の壽命一週間と決る、
どうせ露の命だ

○ 稻荷山下隧道で婦人が轢死
原因は亭主に隠し女、化け
てる氣らしと

あるのは一寸レビニードだ、
文藝物では「文學時代」「文
學風景」でその前に「文藝春
秋」といふ大御所は見逃せ
ない、時代の潮流で「戦旗」
「文戦」が相當出てゆくのも
一傾向だ、詩歌俳句の専門
雑誌は目立つて出ない、こ
れが中文化壇の現在と比較し
て興味ある素材だ、そうか
と言つて「令女界」「若草」等
の感傷主義も歓迎されない
(つづく)



明日の天気 報豫氣天 今晚も明日も南西の風よく晴れ、たお天気で一時曇り處により驟雨あり

- △前六・二〇 夏期獨逸語講座、第五回 武内大造
△前七・〇〇 健康講座 『健康術と觸手療法』第五回 西勝造
△前九・一〇 料理献立 『鯛と野菜のポイルドトマトソース』香川すみ發
△前一〇・三〇 家庭講座 『家庭染色に關する歴史と染法』二、芳賀一男
△後〇・〇五 和洋合奏 一、長唄『勸進帳』二、長唄『吾妻八景』松竹管絃樂團、指揮 島田晴譽
△後一・〇〇 婦人講座 『愛』早大教授 中桐確太郎
△後五・〇〇 講演『健康週間に就いて』醫學博士 永井潜
△後六・〇〇 子供の時間 兒童劇『天神祭』BKコード モサークル
△後六・三〇 水産講座 『工船(養業用工場船)の話』水産試験場長春日信市
△後七・二五 講演 未定
△後八・〇〇 長唄『橋辨慶』松永和孝其他
△後八・三〇 人情劇『文七元結』談洲樓燕枝
△後九・〇〇 擬音レビビ ユ夏八景 第一景 ビルデングの午後其他
△後九・四〇 時報氣象通報番組預告

橋辨慶

本調子辨慶『是は西塔のかたはらに住む武藏坊辨慶にて候、我宿願の仔細あるに由り、この程北野へ、丑の時詣仕り候、また今夜より十禪寺へ、参らばやと存候、如何に誰かある、太刀持『御前に候、今夜より十禪寺へまゐらふぞ、供仕り候太』今夜は御止りあれかし

せす共大勢にては討つべきにおつとり、こむれば太、不思議にはすれ、辨慶問近くよれば、『目にも見えず』神變不思議奇特なる、都廣しといふともそれ程の者ならじ、實に奇體なる事かな

『我は出家の事なれば、思ひわづらひ過行けば、『牛若かかれをなぶりて見んと、行違ひさまに長刀の柄をばつしとけあぐれば、『スハしれ者よ物見せん』と長刀やがて取直し、切つてか、れば牛若は少しもさわがず、太刀抜きはなち、つめつひらいつ 戦ひしが、たゞみ重ねて打つ太刀に、さしも

漁業用工場船の話 水産試験場長 春日信市 沿岸及近海漁業が發達するに連れて漁場は年を逐て遠洋に遠ざかり、遂には漁船が從來の如く漁獲物一々陸揚することは不經濟となり又困難となる 勢ひ漁船の一隊に母船が附随し、母船の船内で漁獲物を處理する組織となる、この母船を工船又は工場船と謂ふ。即ち工船とは船内に於て漁獲物から罐詰、魚油魚粉等を製造し又冷凍貯蔵を爲す専門の船である、例へば数千噸級の母船に十數隻の工船を塔載し、漁船で捕獲した工船を母船即ち工船内に設備せる装置で油をしぼり其残滓を乾燥して肥料を製り又トマトソーサーン罐詰を作るが如き種類の船の總稱である、工船は其製造及漁業の種類によりて色々の種類に分つことが出来る其の構造設備によりて區分すれば罐詰工船、榨油工船、冷凍工船、魚粉又は魚糧工船等となり、又漁業の種類に依れば蟹工船、鯨工船、魚糧工船、鮭工船、鱈工船、鮪工船、大ひらめ、鱈等の工船となる蓋し將來は大量生産の魚業に付きては夫々特種の工船が出現することと思ふ。工船中其の代表的のものに付説明する

一册の代金で 御希望通りな 五册の雑誌が 自由の讀める 川崎巡文庫 電話六三〇番 (申込次第規則書進呈)

夏衣大廉賣 七月廿日より 廿七日まで 十數年以來の新安値夏の好適品を豊富に取揃へて御用命の程を願上ます

最新品! 廉價提供の! 七日間

手拭巾形 五拾錢 東京中形 八拾五錢 實松山紺緞 一圓五拾錢 用着尺モス 二圓五拾錢 特博多式單帶 一圓五拾錢 品時、白大巾縮 五拾錢 品一丈モノ 一圓五拾錢 品一丈モノ 一圓五拾錢 品一丈モノ 一圓五拾錢 品一丈モノ 一圓五拾錢

三井吳服店

品質家庭染料 本位家庭染料 平町一丁目 大平屋藥店 電話六四二番

丑の日大賣出し 大蒲燒 金壹圓也 井 金七拾錢 何れも極上品 一圓五十錢 (上蒲燒御碗) 當日御來客 様に限り 右の通り大勉強仕り候間多少に不拘御用命の程偏に御願申上候

平南町 大和家 電話十四番

貸家廣告

平町三丁目二八番地
元鈴木はき物店
二階建土蔵店、勝手、座敷、倉庫
其の他附屬一切
右御希望の方は當方へ御來談下さい
鈴木宅

久能木式石油コンロ

▲燃料經濟日本一 ▲今が需要最好期
部分品附屬品修理修繕 平町 城山
御一報次第實物持參
吉田藥舖



一滴のチキンソースはよく消化を助け食欲を増進せしむ

特約店 **海老屋商店** 平町田町 電話三三五番

東京本所林町 荒井吟醸

チキンソースは一般向きの嗜好に適する精糖攪完成せられたもので極めて風味もよく西洋支那料理は勿論野菜天ぷら魚類總ての揚物に用ひて一層美味です夏のアツサリした御料理にチキンソースの一滴は忘れられないもの、一つで特にこのソースに依つて消化を助け食欲を増し殊に氣候の變目の不健康時に殺菌力の偉大なる此の調味料は絶対安全食に缺くべからざるものである………
食料品の店頭此の商品なきは一種のハチであり家庭では缺くことの出来ない常備品です

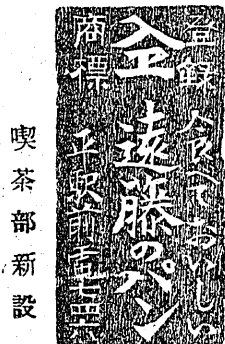
梅毒	皮膚病 婦人病
淋病	腸虫病 十二指腸

門專
村松
腸胃病
胃性病
院醫科 (七〇一話電町南平)

本所
平町
電話
三三五番

看護婦急派

の求めに應じます
平町南町
平看護婦會
電話三〇七番



タクシへの御用命は

何卒 **昭和タクシ**へ
……(料金低廉)……

平驛前

電三四三番

専門 内科一般

宅診 内科は何でも診療致します
往診 呼吸器病ばかりではありません

平町南町六五(元大和田耳鼻科跡)

川井内科診療所

電話七二二番

醫學士 川井重之
女醫 川井安子

お醤油はヤマフル

醬油味噌
たひら正宗
鯉節 食料品

鹽屋
山崎合名會社

福島縣平町
電話(營業部)一〇番
(醸造工場)二七番

アツ……巨弾三發

二十四日替り

恒例夏季謝恩第一回興行
松竹加茂時代派特作品 林長二郎・千早晶子
時代映畫 **狂える名君** 全

NK日活現代派超々特作品
▼原作エリイザベラ・センニニ監督・由阪具隆
大悲剧 **此の母を見よ** 全
瀧花久子、南部章三、入江たか子、松平千鶴子、
佐久間妙子、花百合子

NK日活大作品▼原作西條照太郎、監督・清瀬英次郎
時代劇 **吉五郎サシ悔** 全
鳥羽陽之助、葛木香一、久米讓、淺香新八郎
常盤操子、吉野朝子

☒入場料普通席 二〇 壹等席三〇 特等席四〇
日活松竹 **平** 館 電四 六六

耳鼻咽喉科専門

場所 (舊診療所裏通り)

合津醫院

平町仲田町(電話五五九)